

世界の教育は、今。

海外教育事情の紹介

スポーツと教育

—西ドイツ—

昨年の七月十七日～八月九日の二十四日間、昭和六十二年度日独スポーツ少年団同時交流派遣団の一員として、西ドイツを訪れました。

この事業は、昭和四十九年より始まり、日本スポーツ少年団、西ドイツユーティングとの両者が、両国のリーダー（十六歳～二十一歳）を同一時期、同期間、同人数を相互に相手国に派遣し、民泊等により、それぞれの国的生活習慣を体験し、文化、歴史、産業等について見聞を広めるとともに、スポーツ活動を通じ



ドイツスポーツユーティングと共に記念撮影

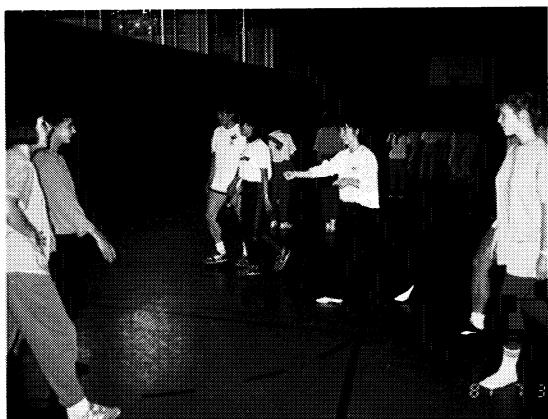
ドイツスポーツユーティング
活動
ダンスパーティ、研修旅行、国際交流

て国際親善を図るものであります。

ドイツスポーツユーティング

ドイツのスポーツの基盤はスポーツクラブで、全国に約六万一千五百の体操クラブ及びスポーツクラブがあり、ここで約千九百二十五万人がスポーツ活動を行っています。

これらのスポーツクラブへの入会は、誕生後すぐにでも可能ですが、実際に活動できるのは、三歳位からだそうです。スポーツクラブの二十一歳までの会員が今回我々が交流してきたドイツスポーツユーティング（ドイツスポーツ少年団）です。クラブ員は自分の所属するクラブに会費を払つて青少年指導者又はスポーツ指導員のもとでスポーツやその他一般青少年活動（デスカッショーン、夏休みのキャンプ生活動、ダンスパーティ、研修旅行、国際交流



スポーツ指導員のリントナーさんによるゲーム指導

ドイツの教育制度

等)を行います。ドイツスポーツユーティングとはスポーツ及び一般青少年活動を通じて青少年の健全育成を目指すドイツ連盟内の青少年団体で、連邦政府(家庭青少年健康省)から育成資金の補助を受けています。これは連邦青少年計画と呼ばれる政府の青少年育成施策の一つです。

ドイツの学校制度は日本のように文部省が基本方針を打ち出し、県、市町村、学校と一つの線で成り立っているのとは異なり、文教権は各州にあります。そのため教育制度の内容も少しずつ差があり現在改革中のことですが、普通六歳でグレントシユーレに入り四年後にその後のコースを決めます。ハウブトシユーレ(五年)、レアール又はミッテルシユーレ(六年)、ヘーエシユーレ(九年)のいずれかを選ぶのですが、約八十パーセントがハウブトシユーレへ行きます。ここを修了すると職業訓練期間に入り実地の訓練をするのですが、その傍らベルーフスシユーレへ週二回程度通います。レアールシユーレを出ると職業生活の中堅コースが約束されます。又専門学校へ進むことも可能です。ヘーエシユーレ(ギムナジウム)の終了試験アビトゥアに合格すると、大学入学資格が得られます。新しい学校形態としてゲザムトシユーレがあります。ここでは三つのコースが一つの学校に集められており能力に従つて進級するようになっています。

第十四回日独スポーツ少年団同時交流派遣団
（勤務先 桑折町役場企画課 指導者 清水 義一）